



令和4年度 学校アンケート結果について

2学期には、学校アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。主な項目の数値等について、ご報告申し上げます。

保護者アンケート（目標値 85%）

○=目標値に達成

△=目標値に未達成

- 「いじめや差別をしないという態度が育っている」95.7%
- 「早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムに気を配っている」93.2%
- 「学校は、教育活動に保護者や地域の方々の協力を得ている」94.3%
- 「お子さんは、学校は楽しいと感じている」89.5%
- 「学校は、懇談会、アンケート、連絡帳など保護者から意見を聞いている」89.1%
- △「自分の思いや考えを周りの人に伝えている」79%
- △「お子さんは、進んで運動している」73.8%
- △「学校での外国語の学習を楽しんでいると感じる」69.8%
- △「お子さんは本に親しんでいる」58.1%

児童アンケート（目標値 85%）

- 「いじめは絶対にいけない」96.8%
- 「授業で学習したことは、将来の役に立つと思う」93.2%
- 「友だちと楽しく過ごすことができる」92.4%
- 「自分や周りの人の安全に気をつけて生活している」90.5%
- 「学校の授業はわかりやすい」90%
- △「ろうかでは、静かに右側を歩くことができた。」74.7%
- △「授業中、思ったことや考えたことを、書いたり話したりできる」74.4%
- △「本を読むことが好きである」70.5%
- △「困っていることを相談できる」66.9%
- △「外国語の学習で、進んで話したり聴いたりしている」66%



保護者アンケートの記述式では、

- ・感染症対策について（各種行事、オンライン授業、感染症対策の緩和等）
- ・授業の様子や児童の対応について
- ・学用品について
- ・家庭学習について
- ・タブレット活用について
- ・学習の森の活用について
- ・あいさつについて
- ・給食エプロンの管理について
- ・PTA活動の負担軽減について

などについてご意見をいただきました。トイレの改修についても多くの意見をいただきました。引き続き、教育委員会に改修の要望を挙げていきたいと思っております。通学路についてもいくつかご意見を頂戴しました。これについては、毎年、秋に地区委員さんを通じて危険箇所を挙げていただいているので、各地区の新地区委員さんに要望を伝えてください。

個別のケースについても具体的にご意見をお寄せくださいました。ありがとうございました。いただいたご意見は教職員で共有・検討し、改善や変更が可能なことは取り入れていきます。アンケートの機会に限らず、お気づきの点については、今後も遠慮なくお知らせください。

アンケート結果から重点取り組みへ

アンケートの結果を受けて、学校では重点項目を決めて3学期に学校全体で取り組んでいます。活字離れは学校だけではなく、社会全体の傾向として長年取り上げられている課題ですが、朝読書や読み聞かせ、学級文庫の充実を図ることにより、まず本と出合う機会を増やそうとしています。廊下歩行については、全校チェックの日を設けて教員から呼びかける機会を設けるとともに、学級会で話し合ったり、代表委員会を中心として自分たちでできる活動を考え取り組んだりすることで、児童自身の意識向上を図ることになりました。運動については、委員会から放送で外遊びを呼びかけるとともに、クラスレクといった子どもたちの自主的な取り組みを充実させることで、寒い時期でも外へ出て運動しようとする気持ちを高めることになりました。「思ったことや考えたことを、書いたり話したりできる」という項目については、授業の終盤に設定している「この時間で学んだことや新たに生じた疑問」について文章でまとめる「振り返り」の学習活動において、書く時間をしっかり確保することで、頑張ったという充実感を持たせたいと考えています。

外国語の学習については、英語が教科化し扱う英単語が増えたことで苦手なイメージを持つ児童が多いのではと考えています。学習する内容については教科書によって定められており減らしたりすることはできないため、歌やチャンツのリズムに乗って英語を繰り返すことで楽しみながら英単語に親しむという英語授業の組み立てを、今後も地道に継続していきます。「困っていることを相談できる」という項目についても、従来から、学期に1回、「学校生活アンケート」をもとに、担任が一人ひとりの児童から個別に聞き取る時間を取っていますので、今後も、言葉の奥にある本当の気持ちを引き出せるように、より丁寧な聞き取りを進めていきます。

3学期も半ばとなってきましたが、お寄せいただいたアンケートの結果を意識しながらできることに取り組んでいきたいと思えます。

3学期の学習活動から

6年生は、地域の方から「戦争の話」を聞きました。講師として来ていただいた堀さんは88歳のご年齢です。話を聞く6年生とちょうど同じような年齢で終戦を迎えました。当時、学校では、戦争をすすめるための教育が行われていたこと、内部駅で出征する兵隊さんを見送ったこと、お寺の鐘まで供出するほど戦況は厳しかったのに「勝った」という偽りの報道しか流されなかったことなどを話されました。そして、敗戦の反省をもとに、その後、日本は78年間平和を守ってきたことを語っていただきました。6年生もたくさん質問をしたり、当時の資料を見せていただいたりして、貴重な学びの場となりました。3年生は、連合自治会長で本校コミュニティスクール委員長でもある諸戸さんから、むかしの暮らしについて教えていただきました。内部地区の昔の写真をを見せていただき、今、自分が住んでいる地区が山林だったことに驚いたり、今は電化されて便利に使えている炊飯器などの調理器具ですが、昔は火をおこすところから準備を整えていかないと朝食をとることさえできなかったことを学んだりしました。蛇口をひねったら簡単に手に入る水も、井戸から汲んできて水がめに貯めてから使っていたので、とても大切に使っていたという話にも聞き入っている姿が見られました。4年生は、内部地区自主防災協議会を中心とする地域の方々にお世話になり防災学習を行いました。防災に関するブースを9つも作っていただいたので、子どもたちも9チームに分かれて順番にすべてのブースを回りました。雑誌など身の回りの物を使って応急手当をする方法を学んだり、毛布で簡易担架を作って70Kgもある人形を運んだりするなど、実際に体験して防災意識を高めることができました。

